

平成 27 年度における総合防災訓練の実施結果について (増設施設主体分)

今年度の増設施設主体の総合防災訓練を実施しましたので、結果を報告します。

なお、当初施設主体の総合防災訓練は 9 月 17 日(木)を予定しています。

項目	内 容
実施年月日	平成 27 年 6 月 10 日(水) 10 時 00 分～11 時 00 分 (天候：晴れ)
参加人員	・公設消防隊：隊員約 29 名、車両 7 台 (指令車 1 台、消防車 4 台、救急車 1 台、その他車両 1 台) ・ J E S C O : 34 名・ M E P S : 60 名・ S K S : 1 名 ○合計 124 名 ほかに、来賓 13 名、報道 2 名
訓練の目的	主に増設施設を対象として、緊急地震速報受信時の安全確保、地震時の避難、設備点検、119 番通報、火災・負傷者発生時の対応、アンモニア漏洩時の高所からの脱出、津波警報発生時の避難、及び公設消防との連携等、総合的な防災活動が的確に実施できることを確認する。
想定事象	① 地震発生 (震度 4 程度：想定 60gal) ② 火災発生 (管理棟 1 階 業者詰所 (非管理区域) から出火) ③ 固形物搬送装置室 (管理区域レベル 1) で作業員が負傷、歩行困難 ④ アンモニア水が漏洩し、2 階に取り残される (高所要脱出者の発生) ⑤ 公設消防への指揮権移譲後に、タンクヤードポンプ室から火災発生
訓練項目	① 緊急地震速報受信時の行動 (棚等から離れ、机下に頭を入れる、等) ② 地震計吹鳴 (40gal 以上) → 避難、対策本部、指揮本部、消防隊設置 (増設施設前駐車場) ③ 設備点検の実施 ④ 火災発生の初期対応 (放水訓練含む) 及び連絡 ⑤ 高所要脱出者発生の対応 (緩行降下器の使用) 及び連絡 ⑥ (公設消防指揮権移譲後) 別箇所での火災発生の対応及び連絡 ⑦ 津波警報発生時の避難 ⑧ 上記通報連絡 ⑨ 公設消防における消火・搬送活動
訓練結果	JESCO、MEPS 及び室蘭市消防本部の連携の下、予定された訓練項目を滞りなく消化し、総合的な防災活動が確実に実施できることを確認できた。
主な反省事項	[ハード面] ・対策本部長への報告はスタンドマイクの前で行うことを想定していたが、位置的な問題と接触不良があり、十分に活用できなかった。 ⇒副本部長級以上の隊員に、ワイヤレスのインカム式マイクを支給する。 [ソフト面] ・連絡・渉外班の対外通報に時間がかかった。特に第 4 報が完了せず、津波警報の訓練への移行に手間取った。 ⇒実災害では津波警報がいつ発表されるか不明であるため、状況に応じて避難場所で通報連絡することもありうる。これを連絡・渉外班長に周知しておく。

・ 添付資料：訓練状況写真

平成27年度 増設処理施設総合防災訓練状況 (2015-6-10)

【実施日】 2015年6月10日(水) 10:00~11:00

【訓練目的】増設処理施設における地震・火災の発生と津波警報の発表を想定し、JESCO、MEPS、室蘭消防本部が連携して、緊急地震速報受信時の対応、地震発生時の避難、設備の点検、火災・負傷者・高所要救助者発生時の対応、津波警報発表時の避難等の総合的な防災活動が的確に実施できることを確認する。

【参加人員】MEPS60名、JESCO34名、SKS1名公設消防29名、合計124名；【消防車】7台(指令車1台、消防車4台、救急車1台、その他車両1台)



緊急地震速報放送後のJESCO(増設)事務所



青木所長:全館放送(避難、自衛防災隊設置)を指示



指揮本部長:増設でのアンモニア漏洩を報告



オリローでの避難状況



消火班:アンモニア漏洩停止・回収作業完了報告



消火班:放水による消火失敗



公設消防隊:放水消火活動開始



公設消防隊:放水消火活動放水



公設消防隊:負傷者救助活動



公設消防隊:負傷者を救急車へ搬送



対策副本部長:対策本部長へ増設施設点呼完了、全員避難を報告



全職員、公設消防対 整列